

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 10月号

今のおすすめは「オオヒシクイ」です



国の天然記念物であるオオヒシクイは、日本で見られる一番大きなガン(雁)で、翼を広げると1m80cm程です。夏はロシアで過ごし、日本の本州で冬を過ごすために渡ってくる渡り鳥です。サロベツは日本最大の中継地となっていて多い年で8000羽以上見られ、休息の為に1ヶ月程滞在し、羽を休めながら栄養を蓄えます。その名前のおりヒシ(菱)の実が好物で、1日150個以上食べると言われています。

【サロベツで見られる渡り鳥たち】



オオヒシクイ



マガン



稀にハクガンなどが混じっていたり…



タンチョウ

これからは、「草紅葉(くさもみじ)」の季節です



湿原の植物が紅葉し黄金色になる草紅葉は、夕日に照らされるとさらに色濃く染め上がります。映画「風の谷のナウシカ」のラストシーンのような素晴らしい光景です。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

<http://sarobetsu.or.jp/>

Facebook も見てね！